

2-2 木製下地マニュアル

1. 施工前の下地確認

1. 下地合板表面のホコリや異物を除去してください。
2. 下地は厚み12mm以上の耐水合板を使用し、含水率は12%以下の状態で使用ください。
3. 床下換気は十分取に取ってください。換気が少ないと施工後、突き上げ・暴れ・床鳴り・割れの原因になります。
4. 下地合板は2~3mm程度空けて凸凹が無いように施工し、接合部の落差は0.5mm以下としてください。もし凸凹が多い場合は、表面のカンナがけをお願いいたします。
5. 床下の湿気対策として、湿気が多いと思われる場合は、下地合板と根太の間に防湿シートを使用してください。
6. 大引きは90mm角を910mmピッチ、根太は45mm以上の太さを303mm以下としてください。
7. フローリングは施工前に開梱して、1週間以上は現場で馴染ませてください。
8. 自然素材のため現場の湿気が施工後に左右いたします。湿気が多い場合は詰めて、乾燥している場合はゆるく施工してください。
9. 自然素材を使用していますので全ての色、柄が違います。必ず施工前に仮並べをしてバランス良く施工をお願いいたします。尚、自然木材のため検品はしておりますが、悪い商品が入っている場合は部屋の外周部に使用するカット材としてのご使用や納戸等にお戻しください。

2. 基準線の墨だし

1. 部屋の2方向の中央を出し、基準線を引いてください。
2. 基準線を平行移動し、この時他の部屋の割付（廊下等）、又直角が出ているかを考慮してください。

3. 貼り始め

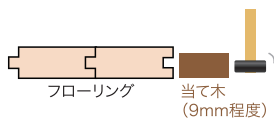
1. 貼り出し線から貼り始めフローリングと壁際は5~7mm位あけてください。気候によりフローリングが収縮します。
2. 壁面から貼り始める場合の1枚目は接着剤で止めて、クサビ等でずれないように押さえてください。
3. 釘はフローリング用のスクリーネイル（L=38~50mm）を使用し、45~60度の角度で打ってください。
4. 釘頭はポンチ等で完全に締め付けてください。
5. ステーパーの場合も45度の角度でフローリングガイドを使用しながら施工してください。
6. 施工中に割れ、欠けが起こる場合は下穴をあけて釘打ちしてください。尚、堅木ほど割れが生じます。
7. 同じ樹種でもフローリングの硬さのバラツキはあるため、エアアの調整か、下穴をあけての施工をお願いいたします。
8. 無垢フローリングの膨張に対するの逃げを設けるため、2枚目からのフローリングの隙間を、スペーサーを利用して0.3mm程度をあけて施工してください。木槌などでフローリングへの過度のカチコミは厳禁です。突きつけて施工すると、湿気を含んだ場合、突き上げ、反り、割れ、床鳴り等を起こす可能性があります。
9. 最終の貼り終わりは釘か接着剤で固定してください。

10. 施工時の注意事項

3. 10. ●フローリングの貼り方

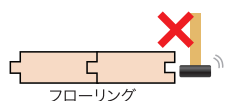
○ 正常な施工方法

フローリングより薄い当て木を使用

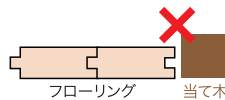


× 間違った施工方法

フローリングに直接、金づちで打つ



フローリングより厚い当て木を使用

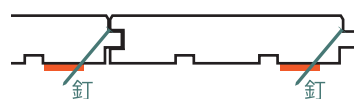


3. 10. ●接着剤の塗布方法

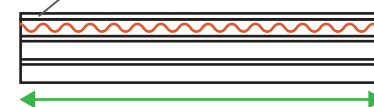
○ 正しい塗布方法

裏面に接着剤を長さ方向に1列筋状に塗布します。

[断面]



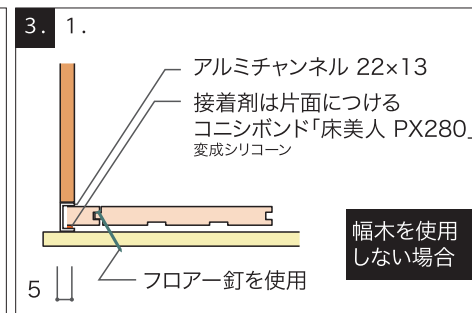
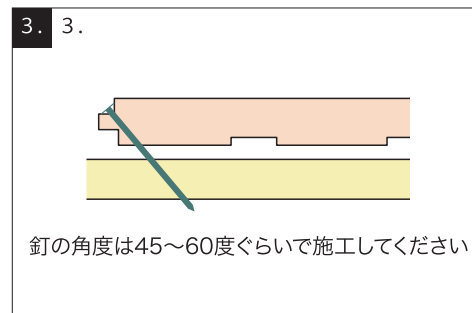
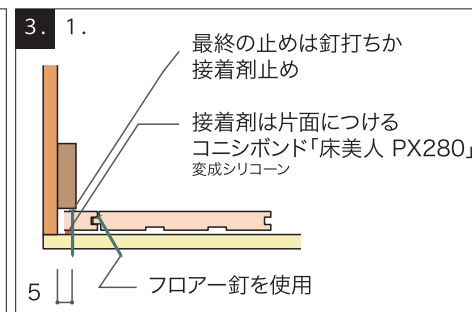
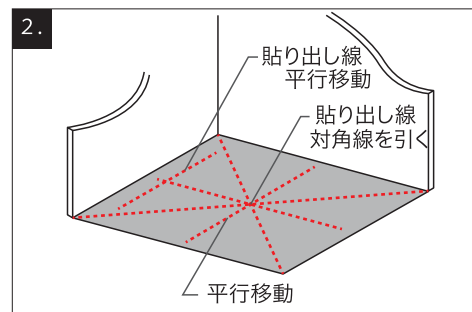
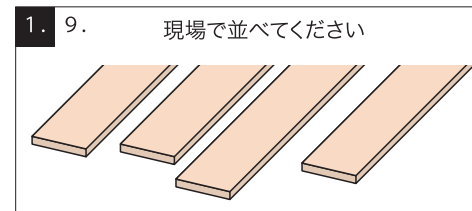
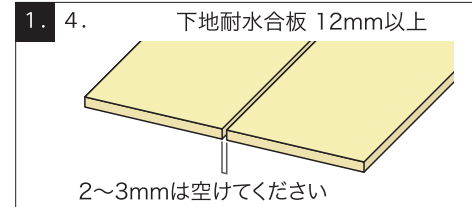
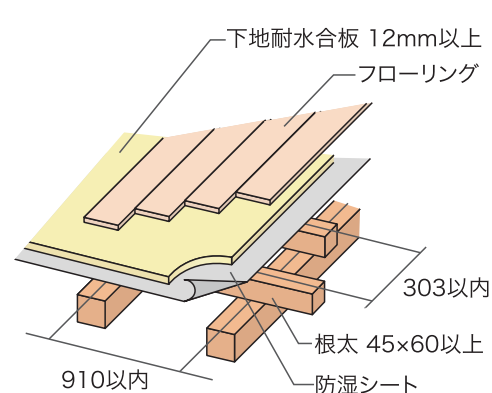
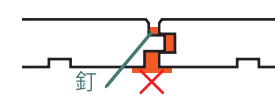
[裏面] 雄実 ▲実には接着剤がつかないように塗布



× 間違った塗布方法

雄実の真下に接着剤を塗布すると実内部に接着剤が入り込む場合があります。

[断面]



4. 施工完了後

1. フローリング施工後、表面のチリやゴミを取り除いてください。
原則として水を使わず、毛先の柔らかいほうきでの掃き掃除や雑巾での乾拭きを行ってください。床表面に傷が入ることを防ぎます。
2. 養生シートを隅々まで敷き、その上にダンボールや合板を敷いて養生し、傷や日焼けによる色ムラ対策を行ってください。養生テープは直接フローリングには貼らないでください。
フローリングの塗膜剥離や、粘着剤が残りトラブルの原因となります。
どうしても使用しなければいけない場合は粘着性の弱い養生テープをご使用の上、時々テープをはがしてください。貼った後の養生テープの上に物を置いたり、足で踏まないでください。
尚、養生テープを取る際にはゆっくり剥がしてください。※養生テープを貼る期間は2週間以下としてください。
3. 室内の換気を十分に取ってください、特に夏場の湿気・温度は十分に注意してください。

5. 床暖房フローリングについて

1. 床暖房をご使用される場合は表面温度を27℃迄としてください。
2. 部分的に温度が高くなるようなところへの使用は避けてください。
3. 床暖房が施工された部分の表面積を完全に覆ってしまうような場合は、その部分だけ温度が上がりフローリングにダメージを与える原因となりますのでご注意ください。
4. カーペット・ラグ・布団等で長時間フローリングを覆わないでください。
5. 床暖房対応品については、床暖房の保障をするものではありません。

6. 保管と注意

1. 水がかかりやすい場所、湿気の多い場所、直射日光が当たりやすい場所での保管は避けてください。
2. 保管には水平な場所で、同じ大きさのリングを3本使用してください。
3. 施工場所の条件は全て違いますので、施工前に開封して現場の気候に合わせてください。
4. フローリングの上に重量物を置く場合は、根太間隔を狭くする等の補強を行なってください。
5. 下地合板の接合部とフローリングの接合部が重ならないようにしてください。
6. 新築物件でベタ基礎などコンクリートを使用している場合は必ず、防湿シートを敷くなど防湿対策をしてください。コンクリートやモルタル部分を適正湿度の10～12%程度になるまで乾燥するまでには相当な時間がかかります。また湿度が高い場所に施工する場合は防湿対策をしてください。

7. 注意事項

1. この施工マニュアルは一般的な施工方法であり、地域により気象条件が異なりますので、施工者責任において施工をお願いいたします。
2. 施工上の不備に対して、弊社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
3. 無垢材のため施工後の割れ・変色・反り・収縮及び経年変化についての苦情・返品・交換は出来ませんのでご了承ください。
4. 施工中・施工後直ぐの割れ・変色・反り・収縮に付いては、必ず画像をお送りください。
5. メンテナンス方法につきましては、弊社ホームページ「施工に関する資料」に記載しております。メンテナンス方法が必要な方は担当まで、お申し付けください。
6. 表面の色等については自然素材を使用のため全ての色・模様が違いますので、あらかじめご了承ください。
7. 商品クレームについて
 1. 自然素材を使用しているため商品のバラツキが有りますので、色・模様の違いは免責とさせていただきます。
 2. 商品についてのクレームはまず、画像をお送りください。画像をみて商品不備の場合には代替商品をお送りいたします。工事等が発生する場合は、お客様の負担をお願いいたします。
 3. 商品のクレームにつきましては、納品後1年以内に連絡をお願いいたします。